

# CITIZEN

2019年度（2020年3月期） 第3四半期

---

決算説明会

**シチズン時計株式会社**

2020年2月12日

本プレゼン資料における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。なお、億円未満は切り捨てになっています。

## 決算のポイント

### ■ 2019年度第3四半期累計実績

- ・ 時計事業

完成品：主力の北米が低調、国内も下振れ

ムーブメント：高付加価値品需要に回復感見られず

- ・ 工作機械事業

設備投資への様子見姿勢が強く、減速基調が継続

### ■ 2019年度通期連結業績予想の修正

時計事業、工作機械事業の低迷と特別損失の計上により下方修正

### ■ 配当予想の修正 通期配当予想24円→12円

# 2019年度 第3四半期連結業績概要

(単位：億円)	1-3Q 2018	1-3Q 2019	前年同期比	
	実績	実績	増減率	増減額
売上高	2,477	2,249	▲9.2%	▲ 228
営業利益	207	112	▲45.9%	▲ 95
営業利益率	8.4%	5.0%	-	-
経常利益	232	124	▲46.6%	▲ 108
親会社株主に帰属する四半期純利益	143	70	▲51.2%	▲ 73
為替レートの影響	¥111/USD ¥130/EUR	¥109/USD ¥121/EUR	-	

為替の影響	売上高	営業利益
USD	+13.0億円	+3.0億円
EUR	+2.0億円	+0.7億円

(1円の円安 年間)

## セグメント別業績推移 売上高

(単位：億円)	1-3Q 2018	1-3Q 2019	前年同期比	
	実績	実績	増減率	増減額
時 計 事 業	1,270	1,183	▲6.9%	▲ 87
工 作 機 械 事 業	542	451	▲16.7%	▲ 90
デ バ イ ス 事 業	474	439	▲7.3%	▲ 34
電 子 機 器 事 業	146	130	▲10.5%	▲ 15
そ の 他 の 事 業	44	43	▲1.1%	▲ 0
合 計	2,477	2,249	▲9.2%	▲ 228

## セグメント別業績推移 営業利益

(単位：億円、%：営業利益率)	1-3Q 2018	1-3Q 2019	前年同期比	
	実績	実績	増減率	増減額
時計事業	123 (9.7%)	82 (7.0%)	▲32.7%	▲40
工作機械事業	98 (18.1%)	62 (13.8%)	▲36.5%	▲35
デバイス事業	28 (6.0%)	12 (2.9%)	▲54.5%	▲15
電子機器事業	3 (2.6%)	▲1 (▲1.3%)	▲145.8%	▲5
その他の事業	0 (2.2%)	1 (4.3%)	+97.2%	+0
消去又は全社	▲47	▲45	-	+1
合計	207 (8.4%)	112 (5.0%)	▲45.9%	▲95

# 時計事業 第3四半期業績推移

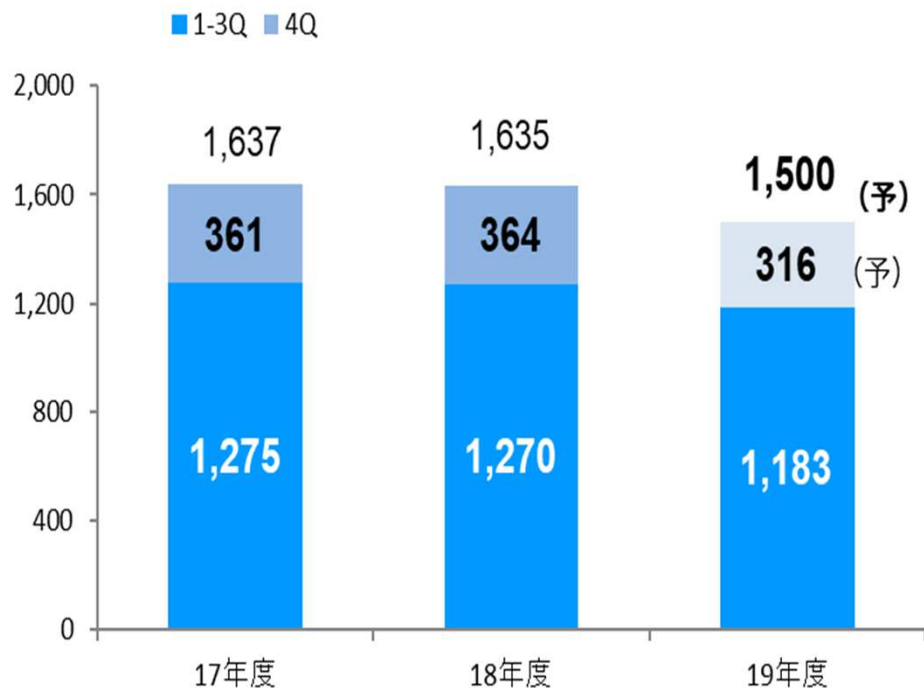
## <完成品販売>

- ・海外市場は、北米市場を中心に実店舗流通の縮小の影響を受け、減収
- ・国内市場は、高価格品が堅調に推移したものの、消費マインドの低下等により横ばい

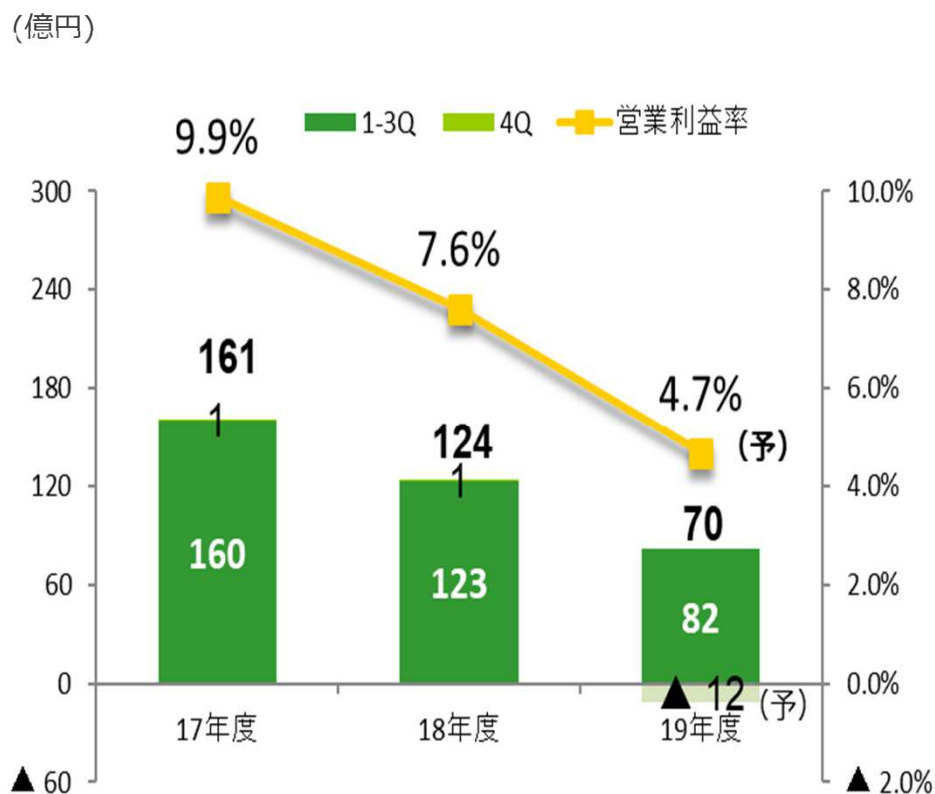
## <ムーブメント販売>

- ・アナログクォーツムーブメントは高付加価値品を中心に勢いがなく、減収

(億円) **売上高**



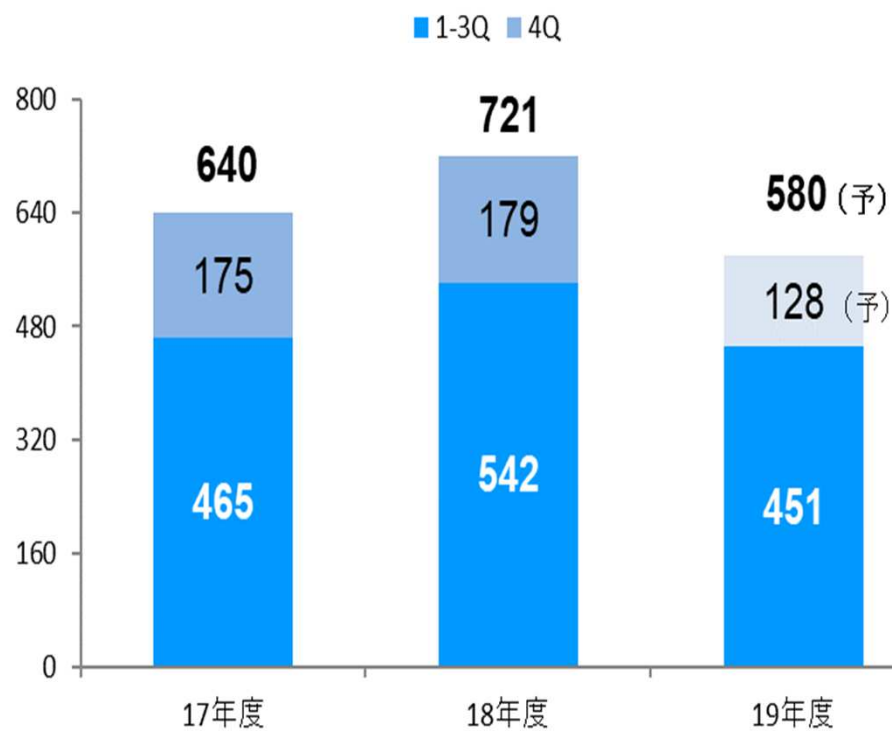
(億円) **営業利益**



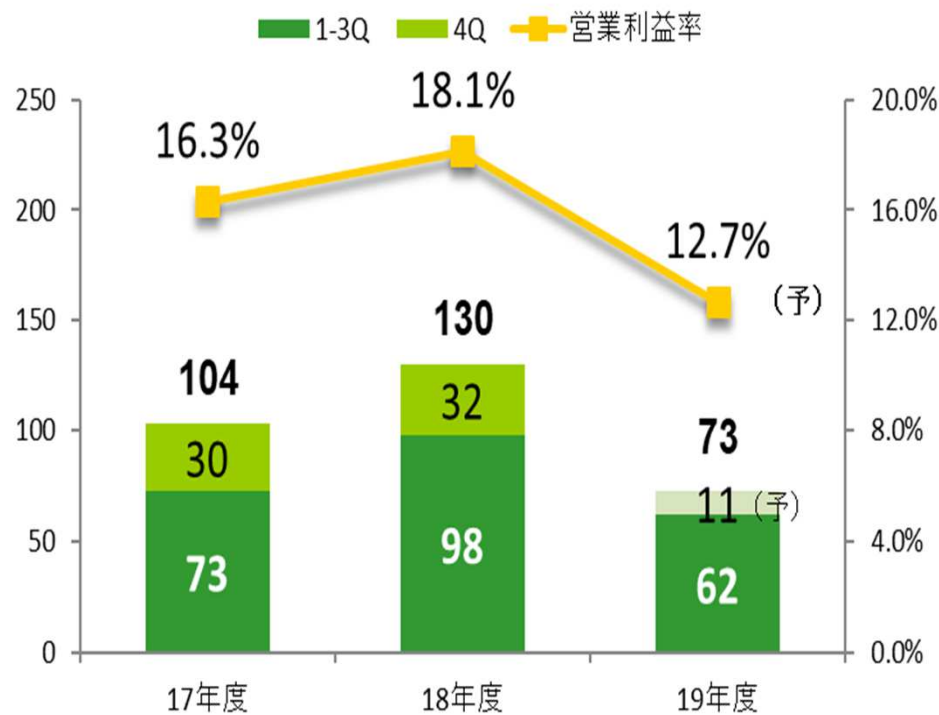
# 工作機械事業 第3四半期業績推移

- ・ 海外市場は、医療関連が堅調に推移する一方で、市況環境は世界的に厳しく、減収
- ・ 国内市場は、自動車関連を中心に投資意欲は依然弱く、減収

(億円) **売上高**



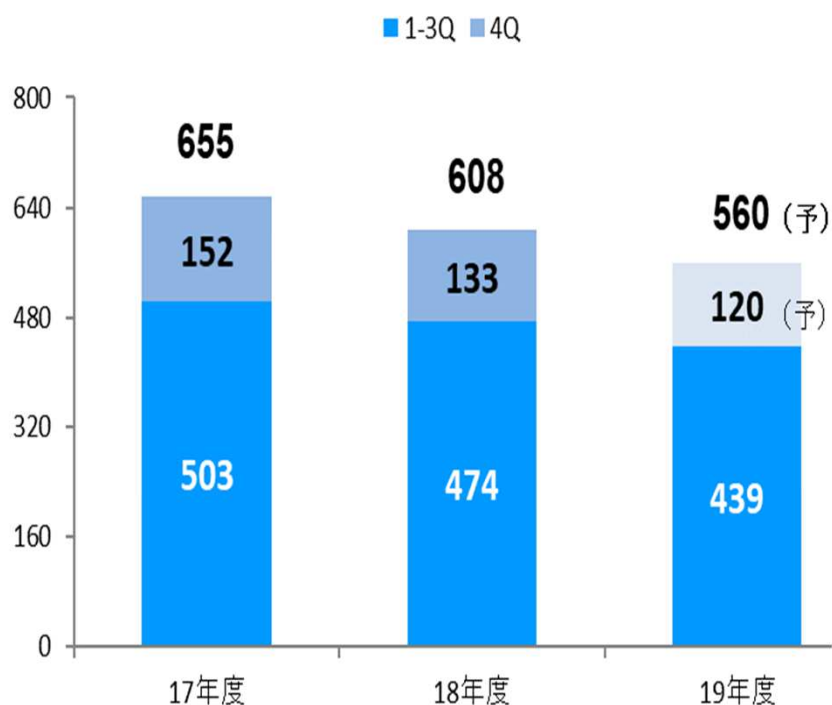
(億円) **営業利益**



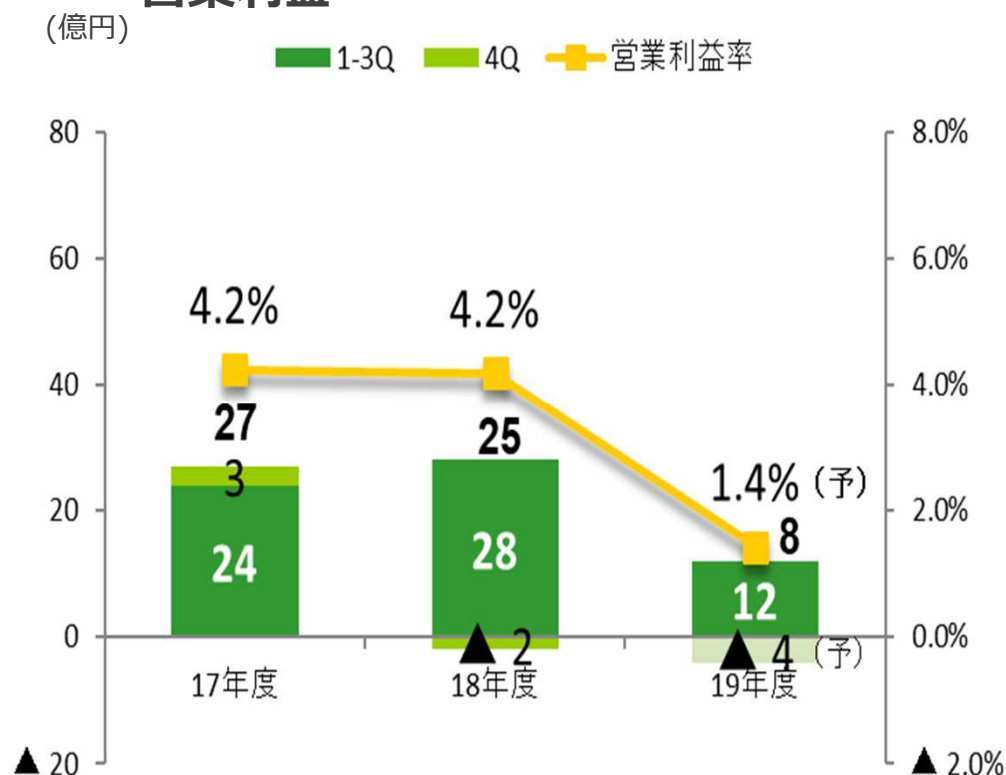
# デバイス事業 第3四半期業績推移

- ・精密加工部品は、新車販売台数の減少から自動車部品が低迷し、減収
- ・オプトデバイスは、車載向けLEDを中心とした需要減やバックライトユニットの不振により、減収

(億円) 売上高



営業利益





## 2019年度 下期及び通期連結業績予想

(単位：億円)	2019年度前回予想		2019年度今回予想		前回予想比増減	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期
売上高	1,605	3,050	1,430	2,875	▲ 175	▲ 175
営業利益	102	160	32	90	▲ 70	▲ 70
営業利益率	6.4%	5.2%	2.3%	3.1%	-	-
経常利益	121	180	46	105	▲ 75	▲ 75
親会社株主に帰属する当期純利益	79	115	4	40	▲ 75	▲ 75
為替レートの	¥105/USD ¥120/EUR	¥107/USD ¥121/EUR	¥108/USD ¥120/EUR	¥109/USD ¥121/EUR	-	-

# 2019年度 セグメント別業績予想

## 売上高

(単位：億円、%：営業利益率)	2019年度前回予想		2019年度今回予想		前回予想比増減	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期
時計事業	876	1,600	776	1,500	▲ 100	▲ 100
工作機械事業	311	620	271	580	▲ 40	▲ 40
デバイス事業	287	581	266	560	▲ 21	▲ 21
電子機器事業	100	189	86	175	▲ 14	▲ 14
その他の事業	30	60	30	60	+0	+0
合計	1,605	3,050	1,430	2,875	▲ 175	▲ 175

## 営業利益

時計事業	77 (8.8%)	112 (7.0%)	35 (4.6%)	70 (4.7%)	▲ 42	▲ 42
工作機械事業	42 (13.6%)	88 (14.2%)	27 (10.3%)	73 (12.7%)	▲ 15	▲ 15
デバイス事業	8 (3.0%)	16 (2.8%)	0 (0.2%)	8 (1.4%)	▲ 8	▲ 8
電子機器事業	6 (6.3%)	5 (2.6%)	▲ 0 (▲0.8%)	▲ 2 (▲1.1%)	▲ 7	▲ 7
その他の事業	1 (3.4%)	3 (5.0%)	0 (0.1%)	2 (3.3%)	▲ 1	▲ 1
消去又は全社	▲ 32	▲ 64	▲ 30	▲ 61	+2	+2
合計	102 (6.4%)	160 (5.2%)	32 (2.3%)	90 (3.1%)	▲ 70	▲ 70

# デバイス事業・その他の事業における構造改革

## デバイス事業

- ・ シチズン電子関連事業
  - 不採算モデルの整理縮小
  - 製造拠点の再編
    - ・ スイッチなどの海外生産移管
    - ・ 国内製造拠点の山梨地区への集約
  - 人員の適正化

## その他の事業

- ・ 宝飾事業の撤退と一部事業譲渡
- ・ レジャーサービス事業の撤退

# 構造改革による影響額と効果

## 構造改革

	2019年度 特別損失計上予定額
デバイス事業関連	34億円 (内 8億円計上済)
その他の事業関連	11億円 (内 3億円計上済)

自社の  
強みを  
生かせる  
製品へ  
注力

# 配当予想の修正

## 株主還元方針

**基本方針** 3年平均で株主還元性向60%以上  
**配当方針** 業績連動と安定配当のバランスを勘案し決定

\* 株主還元性向：配当と自社株買いを合わせた当期純利益の割合

	1株当たり配当金			配当性向	自己株式 取得
	中間	期末			
2018年度	20円	10円	10円	48%	-
2019年度	12円	12円	0円	94%	約30億円



通期業績予想の修正を踏まえ、期末配当を無配へ修正

**CITIZEN**